


(様式2)

公共事業事前評価調査

事業概要	事業名	日野公園墓地納骨堂整備事業
	場所 (所在地)	港南区日野中央 1675-84 他
	事業目的	今後の墓地需要に対応するため、日野公園墓地敷地内において、新たに対面式自動搬送型納骨堂の整備を行います。
	事業内容	<p>日野公園墓地敷地内において対面式自動搬送型納骨堂を整備します。</p> <p>【墓地形態と基数】</p> <ul style="list-style-type: none">・対面式自動搬送型約 6,500 基 <p>【所 在】横浜市港南区日野中央 1675-84 他</p> <p>【施設規模】約 1,500 m²</p> <p>【地 積】約 7,000 m²</p> <p>※参考:日野公園墓地</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>【開 設】昭和8年4月</p><p>【所 在】横浜市港南区日野中央一丁目 13 番1号</p><p>【敷地面積】278,928 m²</p><p>【墓域面積】92,829 m² (墳墓数:約 14,600 基)</p></div> <p>日野公園墓地 案内図</p> 

	<p>事業 スケジュール</p>	<p>平成 25 年度 基本設計 平成 26 年度 実施設計 平成 27～28 年度 建築 平成 28 年度 使用者募集 平成 29 年度 供用開始</p>
	<p>総事業費</p>	<p>約 59 億円 ※今後の精査により変更になる可能性があります。</p>
<p>事業の 必要性</p>		<p>・平成 22 年度に報告を受けた、「横浜市墓地問題研究会報告書」によると、平成 38 年までに横浜市では公民合わせて約 94,000 区画の墓地整備が必要になると推計されています。</p> <p>・公民のそれぞれの特性を活かしながら着実に整備を進めていくことが重要であり、市営墓地については民営墓地の整備状況や多様化する墓地ニーズを注視しながら整備を進めていく必要があります。</p> <p>・市営墓地の整備については、中長期的には「公園型市営墓地の整備」を進めていくことが必要ですが、ある程度まとまった土地の確保はすぐには困難な状況です。</p> <p>・そのため短期的な対応として、市営墓地内用地における、比較的小さな面積で一定数の遺骨を納めることのできる納骨堂の整備を検討してきました。</p> <p>・対面式自動搬送式納骨堂により、新たに 6,500 基を確保することが可能になります。</p> <p>(参考)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>厚生省生活衛生局長通知「墓地経営・管理の指針等について」（平成 12 年 12 月 6 日）では、「墓地経営主体は、市町村等の地方公共団体が原則であり、これによりがたい事情があっても宗教法人又は公益法人に限られる」としています。</p> <p>また、同通知では「地方公共団体が行うのが望ましい理由は、墓地については、その公共性、公益性にかんがみ、住民に対する基礎的なサービスとして需要に応じて行政が計画的に供給することが望ましいと考えられること、将来にわたって安定的な（破綻の可能性がない）運営を行うことができ、住民がより安心して利用できることである。このため、例えば市町村が地域の実情を踏まえた墓地の設置等に関する計画を立てる仕組みの導入等も有効であると考えられる。宗教法人や公益法人も非営利性の面では墓地経営の主体としての適格性は認められるが、永続性の面では地方公共団体の方がより適格性が高いと考えられる。」とされています。</p> </div>
<p>事業の効果</p>		<p>市民の墓地需要に対して一定程度対応していくことが可能になります。</p>

環境への配慮	建設場所は日野公園墓地内ですが、設計を実施していく段階で、環境負荷の低減などを検討していきます。
地域の状況等	事業の実施にあたっては、地元自治会・町内会及び周辺施設に説明を行い、御意見を伺ってまいります。
事業手法	公共発注方式
その他	
添付資料	日野公園墓地納骨堂整備事業基本構想(概要版)
担当部署	健康福祉局 健康安全部 環境施設課 (TEL : 671-2450)

日野公園墓地納骨堂整備事業基本構想（概要）

1 市内墓地需給の現状と課題（H22.9 横浜市墓地問題研究会報告より）

- (1) 平成 38 年までに 94,000 区画の墓地整備が必要になると推計される。
- (2) 市内墓地整備については、
 - ・短期的な対応として「循環利用の促進」と「納骨堂の整備検討」を行う必要がある。
 - ・中長期的な対応として、多様なニーズに対応できる「公園型市営墓地の整備」に向けて、用地確保や空間創出のあり方等について、関係機関等と継続的に協議を図りながら検討していくことが重要である。
- (3) 市内の新規墓地建設のうち、約半数で周辺住民と事業者との間で紛争が発生しており、墓地建設における紛争解決に向けた取組が求められている。

2 今後の取組

(1) 既存墓地の循環利用の促進

平成 23 年度から取り組んでいる既存の市営 3 墓地（久保山、三ツ沢、日野公園墓地公園）での未使用区画の再募集について、引き続き平成 32 年度まで実施する。

(2) 納骨堂の整備検討

比較的小さな面積で一定の遺骨を収蔵可能な納骨堂について、日野公園墓地内用地を活用して整備を進める。

(3) 公園型市営墓地の整備検討

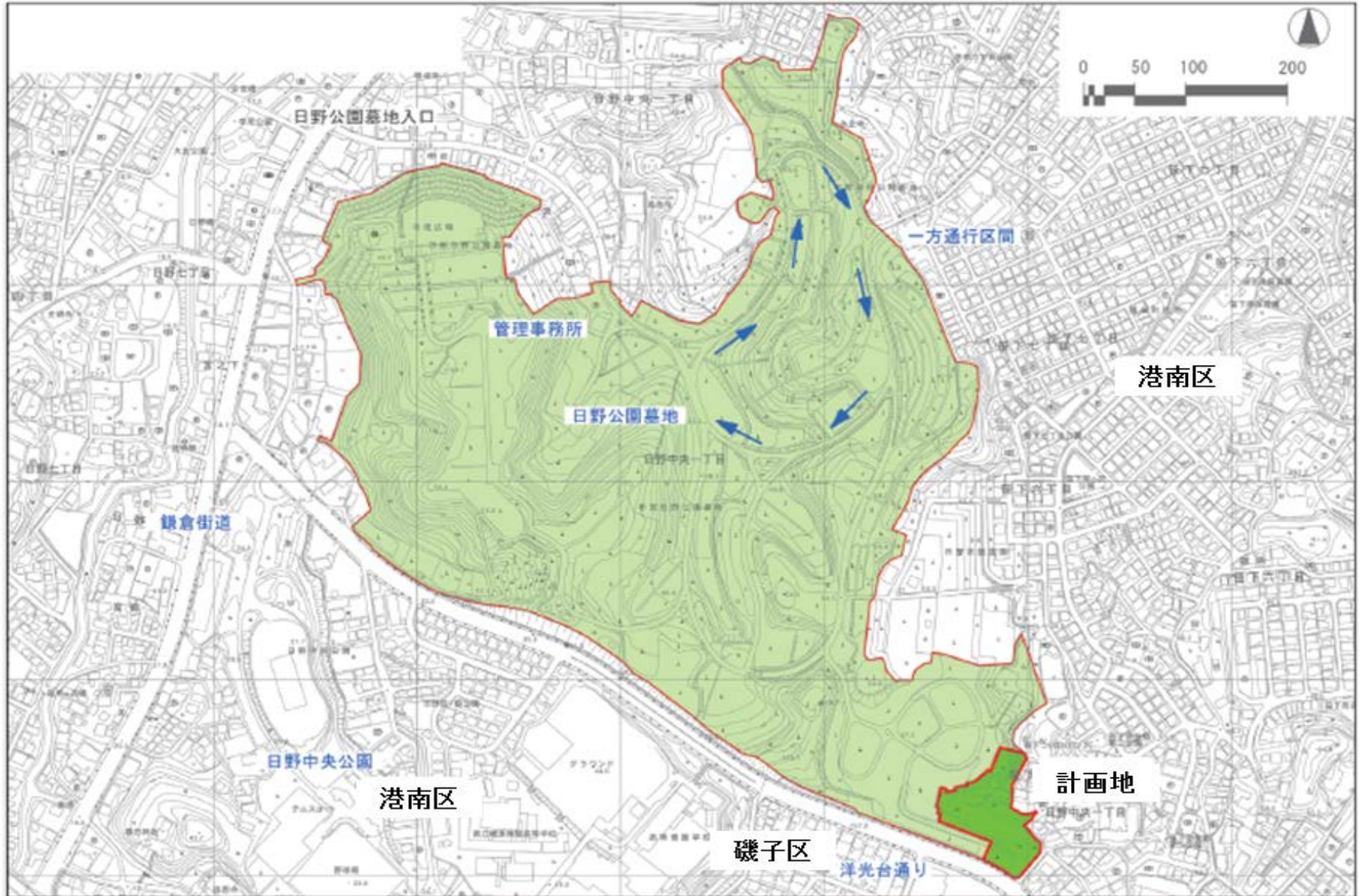
市民の量的な墓地需要や多様な墓地形態へのニーズに柔軟に対応できる公園型市営墓地について、民営墓地の供給動向に留意し、周辺地域の状況を勘案しながら、公有地や大規模施設の跡地を基本に墓地用地の確保を進め、整備検討を行う。また、整備費用については受益者負担を原則として検討する。

3 日野公園墓地 納骨堂整備事業 事業化方針

(1) 納骨堂を整備する理由

- ・市営墓地に求められる緊急性の高い課題として、ある程度まとまった土地の確保がすぐには厳しい状況の中で、短期的に墓地需要への対応を図っていく必要がある。
- ・そのため、既存市営墓地内用地で用地の確保が可能な日野公園墓地（港南区）において、納骨堂の整備を検討する。
- ・平成 23 年度の検討では、納骨堂は自動搬送式として約 6,500 基を確保する。また、平成 28 年度の竣工を目指すとした。

【参考】整備計画地：港南区日野中央 1675-84 他



(2) 納骨堂の位置づけ

- ・納骨堂の特性として、遺骨は永久であるが、納骨堂は建築物として約 60 年など定期的な建替えが永続的に発生してしまう。
- ・市営墓地においては、久保山霊堂が唯一の納骨堂で、遺骨の一時保管施設として位置付けられている。今回検討の納骨堂においても、墓地のように永久的な施設ではなく、一定期間の保管施設とする。

(3) 自動搬送式を導入する理由

比較的小さな面積で一定の遺骨を収蔵することができるため。

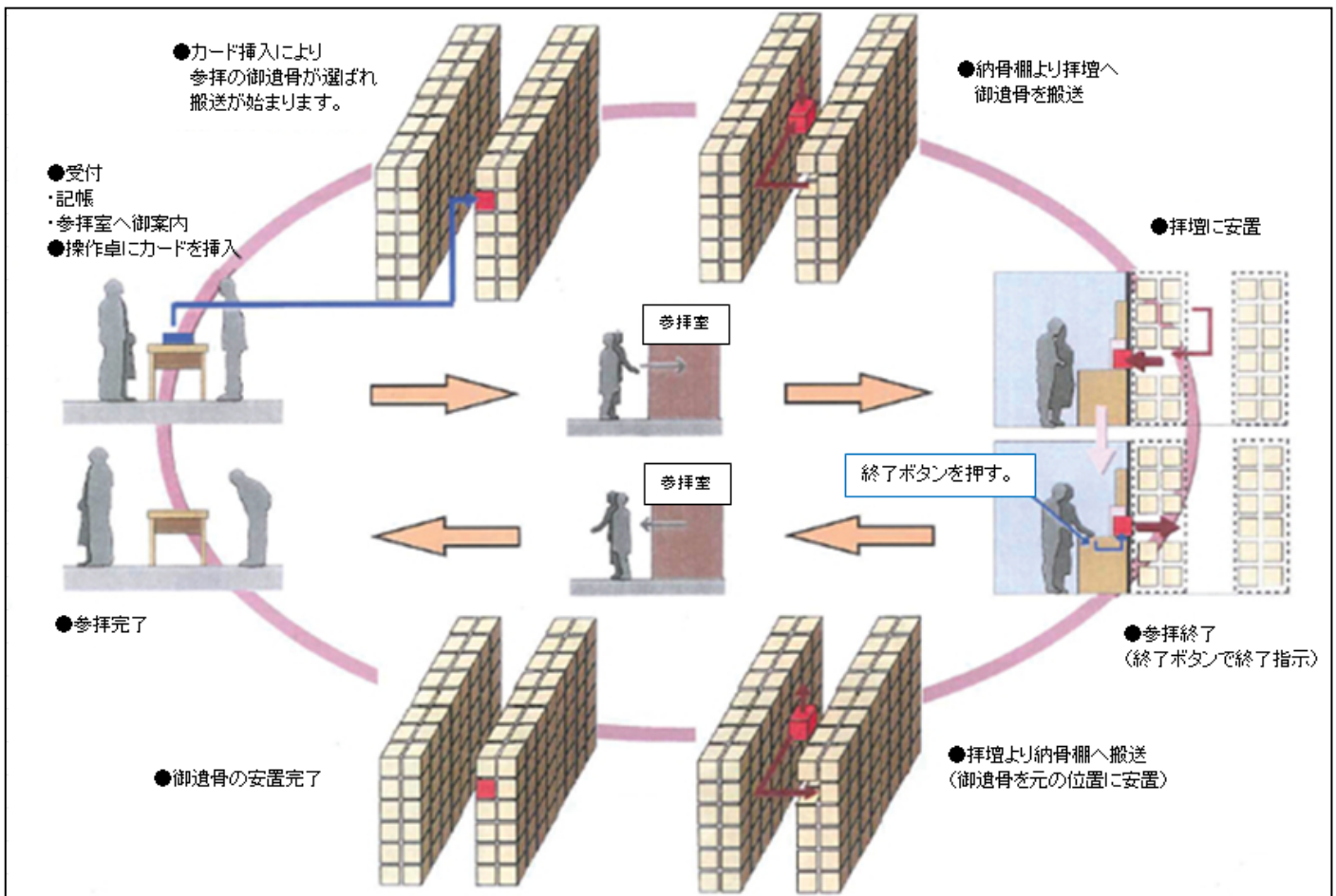
<メリット>

- ・使用者
 - 〔家族型のように対面が可能
 - 〔屋内で、雨など天候に左右されず参拝しやすい。
 - 〔墓掃除や草取りなど管理の手間がいらぬ。
- ・管理者
 - 〔比較的小さな面積で、一定の遺骨の収納が可能
 - 〔参拝の状況が把握できる。

<デメリット>

- ・使用者：繁忙期等は、遺骨に対面するまでの時間がかかる可能性がある。
- ・管理者：機械設備を設けるため、その分の設備費がかかる。併せて、機械のメンテナンス費用も必要となる。

【参考資料】自動搬送式納骨壇のしくみ概要



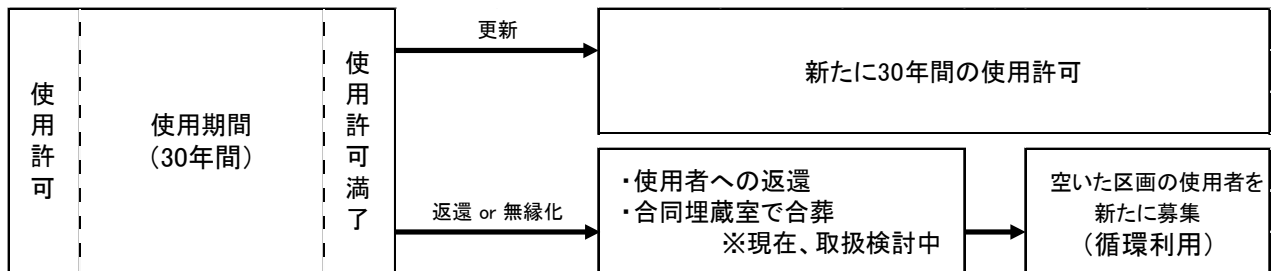
(4) 循環利用の促進

・墓地問題研究会からの検討課題として、市営墓地については、多様な墓地のニーズに応えるため、墓地の使用期間の有期限化など土地の有効活用や、墓地の循環利用に積極的に取り組むことを求めている。

・納骨堂においても、30年間※の有期限化として循環利用を図っていくこととする。また、無縁化した遺骨の最終保管場所を確保する。

※30年間とするのは、一般的に三十三回忌で年忌法要を終え、弔い上げとなることが多いことから、区切りの年数としている。

【参考1】納骨堂使用イメージ



【参考2】使用期間を30年として設定している墓地

- ・メモリアルグリーン：芝生型納骨施設（30年使用）
- ・メモリアルグリーン：合葬式慰霊碑型納骨施設

(5) 整備スケジュール

完成目標は、平成28年度とする。

平成25年度	基本設計
平成26年度	実施設計
平成27年度～28年度	建設
平成28年度	募集
平成29年度	供用開始

■参考資料 1 墓地需要推計

平成 22 年度の墓地問題研究会における墓地需要数の推計は次のとおりである。

・平成 20 年度末における供給可能数は約 40,000 区画で、平成 25 年度までの需要には対応できる見込み

・平成 38 年までの必要区画数 約 134,000 区画

・平成 38 年までの残り必要区画数 約 94,000 区画

ここで「区画」とは家族型墓地など複数の遺骨収容が可能な形態。

表 墓地需要推計の算定式

・現在必要数＝親族世帯数×遺骨保持率×墓地需要率
・将来必要数＝死亡予測数×定住志向率×墓地需要率

表 需要予測数

年次	親族世帯数 (世帯)	墓地必要数<<現在必要数>> (区画)	墓地必要数<<累計>> (区画)
平成 19 年	1,032,776	12,443	12,443
年次	死亡予測数 (世帯)	墓地必要数<<将来必要数>> (区画)	墓地必要数<<累計>> (区画)
平成 20 年	25,249	4,707	17,150
平成 21 年	26,190	4,883	22,033
平成 22 年	27,173	5,066	27,099
平成 23 年	28,215	5,260	32,359
平成 24 年	29,242	5,452	37,811
平成 25 年	30,268	5,643	43,454
・・・	・・・	・・・	・・・
平成 38 年	43,620	8,132	134,437

※ 現在必要数＝親族世帯数（1,032,776 世帯）×遺骨保持率（4.9%）×墓地需要率（24.7%）【平成 19 年】

※ 将来必要数＝死亡予測数×定住志向率（75.5%）×墓地需要率（24.7%）【平成 20～38 年】

（遺骨保持率、墓地需要率及び定住志向率は、平成 19 年度実施の横浜市墓地に関する市民意識調査結果を利用した。死亡予測数は、横浜市将来人口推計を参考とした。）

平成 20 年度末における供給可能区画数：約 40,000 区画

平成 38 年必要区画数：約 134,000 区画

⇒平成 38 年までの残り必要区画数：約 134,000－約 40,000＝約 94,000 区画

（出典：平成 22 年度横浜市墓地問題研究会報告書）

■ 参考資料 2 既存市営墓地の概要

既存の市営墓地は5か所で、久保山墓地、三ツ沢墓地、日野公園墓地、メモリアルグリーン及び根岸外国人墓地がある。納骨堂は1か所で久保山霊堂がある。

市営墓地の募集は、平成25年度にメモリアルグリーンの合葬式樹木型及び慰霊碑型の募集で終了し、平成23年から平成32年の10年間で久保山墓地、三ツ沢墓地及び日野公園墓地において未使用区画の2,600区画を募集する予定である。

市営墓地の概要と墓地形態、使用料、管理料及び募集状況を以下の表に示す。

【既存市営墓地概要と使用料、管理料及び募集状況一覧表】

既存施設名		久保山墓地	三ツ沢墓地	日野公園墓地	メモリアルグリーン	根岸外国人墓地	久保山霊堂	使用料			管理料			1区画当たりの収容体数(体)	
墓域面積		126,213㎡	126,213㎡	278,928㎡	64,704㎡	7,610㎡	3,324㎡	(円)	単位	年	(円)	単位	年		
開設年		明治7年	明治41年	昭和8年 <small>壁面式と合葬式は平成0年</small>	平成18年	明治35年	昭和32年 昭和57年改築								
所在地		西区	神奈川区	港南区	戸塚区	中区	西区								
墓地形態 (内は総区画面積)	屋外	家族型 墳墓地	13,968基 (102,777㎡)	7,133基 (33,639㎡)	14,657基 (92,829㎡)		1,082基 (2,906㎡)	145,000	1㎡	永年	5,000	1区画	1年	-	
		家族型 壁面式納骨施設			450基 (2,281㎡)			220,000	1基	10年	-	-	-	平均6	
		家族型 芝生型				7,500基 (7,500㎡)			900,000	1基	永年	8,000	1区画	1年	平均6
		家族型 合葬式納骨施設			6,000体 (242㎡)				65,000	1体	永年	0	-	-	1~2
		家族型 樹木型				3,000体 (951㎡)			140,000	1体	永年	60,000	1体	永年	1~2
	家族型 慰霊碑型				12,000体 (325㎡)			60,000	1体	30年	30,000	1体	30年	1~2	
	屋内	短期 焼骨短期保管施設						910体 2,000基 (3,066㎡)	3,000	1体	1年	-	-	-	1
		家族 家族納骨壇							60,000	1基	5年	-	-	-	6
		家族 家族納骨壇							120,000	1基	10年	-	-	-	6
	募集状況	屋外	墳墓地	H23年度からH32年度まで、未使用区画について3墓地合計2,600区画を募集する予定。				新規募集 予定なし							
壁面式納骨施設					H25年度 更新手続き予定										
芝生型						H21年度 募集終了									
合葬式納骨施設					H15年度 募集終了										
樹木型						H25年度 募集終了予定									
慰霊碑型															
屋内		短期 焼骨短期保管施設													
	家族 家族納骨壇														

裏面「H25横浜市営墓地使用者募集実績」参照

順番待ちにより
空き次第随時

横浜市営墓地の使用者募集に約 6,700 通の応募がありました。

【一部の募集区分を除き、抽選となります】

平成 25 年 9 月 4 日（水）から 10 月 4 日（金）にかけて、横浜市営墓地の使用者募集を行ったところ、募集数 1,595 枠に対して、約 6,700 通の応募があり、一部の募集区分を除き、抽選となります。

抽選については、平成 25 年 10 月 27 日（日）に横浜情報文化センター内情文ホール（横浜市中区日本大通 11 番地）にて公開抽選会を行い、当選者等を決定します。（墓地の使用開始は、平成 26 年 2 月を予定）

1 応募状況

納骨施設形態	使用期間	申込区分		募集数	応募数	振替後募集数	抽選倍率	抽選の有無
三ツ沢墓地	永年	1.4㎡ ～1.9㎡	遺骨保持 ア	300区画	1,064区画	300区画	3.55	抽選
小計				300区画	1,064区画	300区画	残数:無し	
メモリアルグリーン合葬式樹木型納骨施設	永年	1体分	遺骨保持 カ	78(78体分)	95(95体分)	78(78体分)	1.22	抽選
			生前 キ	52(52体分)	481(481体分)	52(52体分)	9.25	抽選
		2体分	遺骨保持 ク	77(154体分)	189(378体分)	77(154体分)	2.45	抽選
			生前 ケ	52(104体分)	1,827(3,654体分)	52(104体分)	35.13	抽選
小計				259(388体分)	2,592(4,608体分)	259(388体分)	残数:無し	
メモリアルグリーン合葬式慰霊碑型納骨施設	30年	1体分	遺骨保持 サ	187(187体分)	212(212体分)	187(187体分)	1.13	抽選
			生前 シ	125(125体分)	490(490体分)	125(125体分)	3.92	抽選
		2体分	遺骨保持 ス	434(868体分)	397(794体分)	397(794体分)	-	無抽選
			生前 セ	290(580体分)	1,983(3,966体分)	327(654体分)	6.06	抽選
小計				1,036(1,760体分)	3,082(5,462体分)	1,036(1,760体分)	残数:無し	
合計				1,595	6,738	1,595		

※当初の募集数に対し、応募数が満たなかった申込区分の残り募集数は、同一の形態内で、募集数を超えた申込区分に振替を行っております。

2 抽選結果の公開

- 平成 25 年 10 月 28 日（月）から、横浜市役所市庁舎掲示板（一週間程度）と横浜市ホームページ（<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/kankyoshisetu/bochi-reidou.html>）で抽選結果を公開します。
- 申込者数が募集数を超えず、無抽選となった申込区分の申込者に対して、平成 25 年 10 月 25 日（金）までに「当選」を記載した「横浜市営墓地応募結果通知書」を送付します。
- 抽選対象となった申込区分の申込者に対して、平成 25 年 11 月 5 日（火）以降に、「当選」「補欠」「落選」を記載した「横浜市営墓地応募結果通知書」を送付します。

3 募集計画

納骨施設形態	26年度以降の募集計画	
一般墳墓地	26年度は、久保山墓地について、約300区画の公募を行う予定です。	募集計画は予定であり、今後変更となる可能性があります。

お問い合わせ先

横浜市健康福祉局環境施設課長 小林 進 Tel 045-671-3820

■ 参考資料3 横浜市墓地に関する市民アンケート調査報告（抜粋）

1 調査目的

少子高齢化の進展や単身世帯・夫婦のみ世帯の増加など社会状況が大きく変化する中で、結婚に対する意識や子どもを持つことに対する意識の変化が見られる。また、家族で一緒に過ごす時間が少なくなり、さらに、離れて暮らす家族が増えている。このように、家族観の多様化や家族のつながりに変化が見られることから、家族のあり方と関係が深いと思われる市民の葬送に対する考えや墓地に対する意識もまた変化してきていると考えられる。

このため、本調査を実施することで、市民の考えやニーズを把握し、将来の墓地需要数や供給方策の検討など、今後の墓地行政の参考にすることを目的とする。

2 アンケート集計結果（抜粋）

(1) 墓地の取得希望

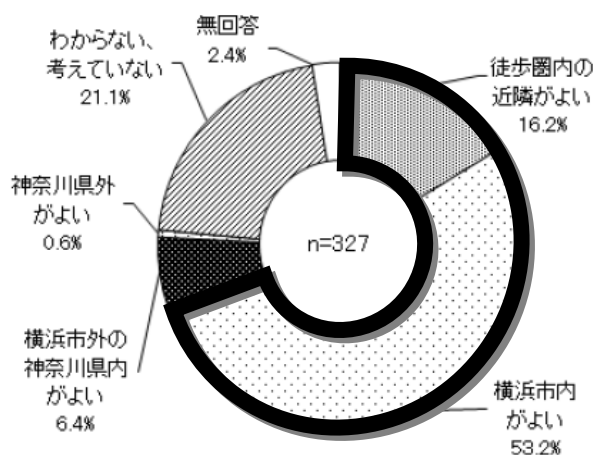
墓地の取得を希望する 22.4% (327)	墓地の取得を希望しない 77.1% (1,124)	無回答 0.5% (7)
---------------------------	------------------------------	-----------------

(1-1) 取得したい地域

「横浜市内がよい」（53.2%）が最も多く、「徒歩圏内の近隣がよい」（16.2%）と合わせると、約7割が市内等比較的近い場所を希望している。

問3. 問2で墓地の取得を「希望する」とお答えの方におたずねします。

(3) あなたは墓地をどの地域に取得したいとお考えですか。



回答	回答数	%
徒歩圏内の近隣がよい	53	16.2
横浜市内がよい	174	53.2
横浜市内外の神奈川県内がよい	21	6.4
神奈川県外がよい	2	0.6
わからない、考えていない	69	21.1
無回答	8	2.4
計 (n)	327	100.0

(1-2) **取得したい墓地の種類**

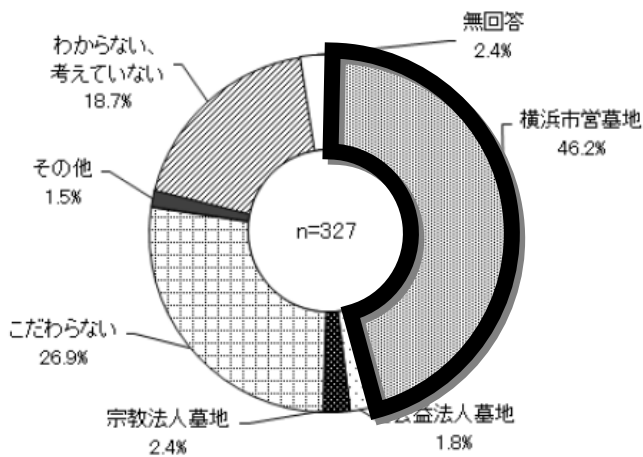
「横浜市営墓地」(46.2%)が最も多く、「こだわらない」(26.9%)、「わからない、または考えていない」(18.7%)がそれに続く。

一方、「公益法人墓地」(1.8%)や「宗教法人墓地」(2.4%)など民営の墓地を希望する回答はわずかだった。

また、「横浜市営墓地」の取得希望者は、「60歳代」が65.9%、「70歳以上」が70.0%と年代が高いほど回答が多くなっている。

問3. 問2で墓地の取得を「希望する」とお答えの方におたずねします。

(4) あなたが取得したい墓地は次のどれですか。(主なものを1つ)



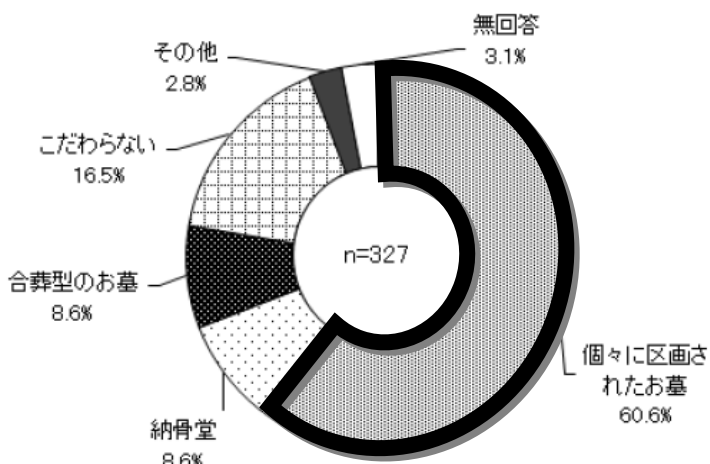
回答	回答数	%
横浜市営墓地	151	46.2
公益法人墓地	6	1.8
宗教法人墓地	8	2.4
こだわらない	88	26.9
その他	5	1.5
わからない、考えていない	61	18.7
無回答	8	2.4
計 (n)	327	100.0

(1-3) **取得したい墓地の形式**

「個々に区画されたお墓」(60.6%)の希望が6割で最も多く、「こだわらない」(16.5%)、「納骨堂」(8.6%)、「合葬型のお墓」(8.6%)がそれに続く。

問3. 問2で墓地の取得を「希望する」とお答えの方におたずねします。

(6) あなたは今後墓地を取得するとしたらどのような墓地を求められますか。



回答	回答数	%
個々に区画されたお墓	198	60.6
納骨堂	28	8.6
合葬型のお墓	28	8.6
こだわらない	54	16.5
その他	9	2.8
無回答	10	3.1
計 (n)	327	100.0